22. 結婚と世代間関係に関する規範意識の構造……鈴木　透（人口問題研究所）

<座　長>　山口　喜一（東京家政学院大学）

23. 個人差・地域差にみる多世代家族……黒須　里美（国際日本文化研究センター）

24. 老親扶養の規範と老後保障の期待に関する時系列的分析……小川　直宏（日　本　大　学）

<座　長>　小林　昭二（厚生統計協会）

25. 出生数と生残率の変動が平均年齢に与える影響について……大谷　憲司（関　西　大　学）

26. 合計死別率などの合計動態率について……廣嶋　清志（人口問題研究所）

27. 生命表によるライフ・サイクル指標……府川　哲夫（国立公衆衛生院）

<座　長>　工藤　弘安（成　城　大　学）

28. 世代マップ ――人口動態統計の情報表現―― ……池田　一夫（東京都立衛生研究所）
倉科　周介（東京都立衛生研究所）
大橋　誠（東京都立衛生研究所）

29. 小地域人口推計方法の改良
――コーホート変化率法の都市内部地域への適用に関して―― ……大江　守之（清　水　建　設）

30. 人口の東京一極集中と地域移動の動向 ――昭和50年以降の動向―― ……藤田　峯三（総務庁統計センター）

<座　長>　仮谷　太一（川崎医療福祉大学）

31. 新生児が生存可能な出生時体重の閾値……花田　恭（国際協力事業団）

32. 小地域別にみた出生数の変化に関する考察……梅崎　昌裕（東　京　大　学）
大塚柳太郎（東　京　大　学）
鈴木　継美（東　京　大　学）

<座　長>　篠崎　吉郎（帝　塚　山　大　学）

33. 明治・大正期における乳児死亡率の上昇について……高瀬　真人（前国立公衆衛生院）

34. わが国の死亡率低下についての一解釈……西田　茂樹（国立公衆衛生院）

35. 死因別死亡率のパラメタライズドモデル(2)……南條　善治（東北学院大学）
重松　峻夫（福　岡　大　学）
吉永　一彦（福　岡　大　学）

<座　長>　岡田　實（中　央　大　学）

36. 稲作農家の性別年齢別就業動向……唯是　康彦（千　葉　大　学）
三浦　洋子（千葉経済大学）

37. 死亡変動と人口高齢化……髙橋　重郷（人口問題研究所）

38. 人口高齢化の経済的効果……大淵　寛（中　央　大　学）

39. 需給バランスの変化と労働市場の不均衡……水野　朝夫（中　央　大　学）

<座　長>　小野　俊夫（早　稲　田　大　学）

40. インドネシアの移住政策と人口移動……渡辺真知子（嘉悦女子短期大学）

41. Brazil 日系人調査について ……水野　坦

日本人口学会関東部会（第7回研究報告会）

平成3年6月29日（土）午後，日本人口学会関東部会の第7回研究報告会（公開講座）が以下の通り駒沢大学において開催された．

座　長　阿藤　誠（厚生省人口問題研究所）

第1報告　「戦後の人口問題と優生保護法」……岡崎　陽一（日　本　大　学）

第2報告　「ヤング・アダルトの日米比較」……津谷　典子（日　本　大　学）

第1報告は，戦後の優生保護法成立の経緯を当時の資料に遡って検討したものであるが，当時の事情に詳しい村松稔会員からの多くのコメントも含めて教えられることが多かった．

第2報告は，詳細な統計データに基づいて青年期人口の人口学的行動と進学・就業行動の日米比較を試みたもので，米国におけるライフコースの多様化，日本におけるライフサイクルの遅滞化現象が対照的な形で示されて興味深かった．

最近の出生率低下，いわゆる〝1.57ショック〟の影響もあってか，両報告のトピックに対する参加者の関心は強く，活発な議論が続き予定の時間を大幅に超えて報告会を終えた．

（阿藤　誠記）